

## ペガサス分団活動 『川と戦い、川と生きる』～馬宮の自然～

令和元年6月9日(日)  
さいたま支部ペガサス分団

令和最初の自然観察は西区の馬宮で行います。

馬宮は荒川低地にあります。現在は荒川、かつては古入間川が上流から養分を含んだ大量の土を運んできたため、肥沃な大地となり、たくさんのお米が収穫できます。今でも、堤防より川に近い方がよいお米がたくさん収穫できるそうです。しかし、川は洪水という大きな災害をもたらします。かと言って離れた台地の上で生活したのでは、米作りには不便です。

馬宮に住む人々は、米作りのために、あえて低地に住み、洪水と戦い続けてきました。低い土地の中でも少しでも高い自然堤防に住み、周囲に堀や土手を築く環状集落。曲がりくねった河川を真っ直ぐにして排水を良くする河川改修。土手をグレードアップしていく治水。洪水時に堤防に当たる水勢を弱める横堤防の建造。様々な工夫を今でも見ることができます。このような改修を大規模に進めたのが、江戸時代初期の荒川の付替えを行った伊奈氏です。伊奈氏は川口の赤山城の城主ですが、関東各地の改修を行ったため、各地に陣屋を設けてそこで改修工事の指揮をしました。馬宮にも土屋陣屋を設けています。今でも陣屋跡が残っており、当時を思わせる堀跡を見ることができます。

馬宮は、生物も低地に生きる特徴を備えています。初夏の馬宮は豊かな水田に水が入り、そこに多くの鳥や昆虫が集まってきます。今回はこのような生き物達も見ることができればと思います。

1 期日 令和元年6月9日(日)

☂☂☂ 悪天候、交通事情の混乱の時は中止します。

2 集合 指扇駅改札付近 午前9時30分

3 解散 第1次解散 馬宮コミュニティセンター 午前11時30分頃  
最終解散 指扇駅 午前12時頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約2.5km  
指扇駅→荒川土手→馬宮コミュニティセンター→土屋陣屋跡→馬宮コミュニティセンターバス停(一次解散場所)→指扇駅  
天候などにより、当日になって行程を変えることもあります。

5 持ち物  
雨具、ゼロハンテープ、持っていれば双眼鏡

6 その他

- ・ペガサス分団活動は参加人数を把握して資料を用意する関係上、事前の申し込みをお願いしています。
- ・小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします
- ・途中で先に帰る場合は年齢にかかわらず保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- ・団体行動です。1人で行動してはいけません。1人のときはリーダーに行ってもらいましょう。
- ・危険なもの、まわりに迷惑をかけやすい物(刃物、ライター、モデルガンなど)は、もってこない。
- ・天候、交通事情、団員の健康状態等で予定を変更することもあります。